

取組3 女性研究者の積極採用と上位職登用

1 女性教員ポストアップ

広島大学は、社会的課題に挑戦する女性研究者、国際的に活躍する女性教員を育成することを目指し、第3期中期目標として、女性教員割合20%、女性管理職割合20%を掲げ、加えて、本事業において、女性上位職(教授・准教授)の割合を20%にすることを新たな目標としている。2009(平成21)年から継続してきた女性教員ポストアップ制度を2019(令和元)年度から学内昇任制度の中に女性枠を措置して、女性教員3名の昇任を決定した。

2 「女性限定」公募の実施

広島大学では、教員人事の全学一元管理の下、多様な人材確保への取り組みを配置の観点の一つとして捉え、「女性教員」枠を設ける等、戦略的に40ポストの措置を行った。また、教員採用におけるポジティブアクション(業績・評価が同等と認められた場合は女性を採用)の促進を2019(令和元)年度も継続して実施した。

3 デルタ工業株式会社 女性活躍推進研修

■日時: 2019(令和元)年10月18日(金) 9:00~16:00

■場所: デルタ工業株式会社 研修室

■参加者: 6名

■研修の目的: ①自らの能力の現状や仕事観・志向性を把握する
②自らが目指すべきキャリアビジョンを明確にする
③その実現に向けての行動計画の作成を通じて、自律的に能力開発の推進を図る

■スケジュール:

午前 オリエンテーション・ねらいと進め方・チーム内自己紹介(事前課題: キャリアの軌跡を用いて)環境の変化と自分の関わり・環境の変化と私たちへの期待・社会変化に対するアンテナの強化・自分への期待自己理解を深める・なぜキャリア開発なのか・「キャリア」という言葉の意味・キャリアマネジメントの現状分析・能力の棚卸し・仕事の意味を考える・興味関心の方向性を分析する・ありがたい自分を考える(事前課題: 内省シートを用いて)

午後 仕事観の確立・なぜ働くのか・仕事とは何か・不満と問題意識キャリアビジョン実現に向けての目標設定・キャリア開発の戦略・ラベルプレゼント・アフタマーション・行動計画シート作成まとめ・質疑応答・総合コメント



4

一般財団法人国際開発センター

スキルアップ研修及びコーチング・メンタリング研修

プレゼンテーション研修の開催

- 日時: 2019(令和元)年11月12日(火) 14:00~17:30
- 場所: 品川フクラシア会議室
- 参加者: 6名(男性職員3名, 女性職員3名)
- 内容: プレゼンテーションの基礎を再確認し, 各自がこれまで身につけてきたプレゼンテーションスキルの見直しを行った。また, ビデオ撮影によってそれぞれのプレゼンテーションを客観的に評価したり, グループワークを通してプレゼンテーションで工夫していること等を共有することによってスキルアップを図った。

<参加者の声(抜粋)>

- 聞き手のメリットを考えた資料作成やプレゼンテーションを行うよう心がけていきたい。
- 今後, プレゼンテーションを準備する際には, 内容の組み立て方など今日の学びを活かしたい。
- ビデオ撮影によって自分のプレゼンテーションを客観的に見ることができ, どのような点を注意したらよいか理解が深まった。

管理職・リーダーを対象としたコーチング研修の開催

- 日時: 第一回 2019(令和元)年12月13日(金) 14:00~17:30
第二回 2020(令和2)年2月27日(木) 14:00~17:30
- 場所: AP品川会議室
- 参加者: 20名(男性職員10名, 女性職員10名(各回合計))
- 内容: 講義とグループワークを通して, ティーチングとコーチングの違いを理解し, 特にコーチングで重要な3つの手法(傾聴・承認・質問のスキル)について学んだ。今後, より積極的に部下や後輩の育成に取り組めるような意識を醸成した。



<コーチング研修の様子>

<参加者の声(抜粋)>

- 部下や後輩の話をよく聞くようにすることが重要だとわかった。今後の後輩指導に活かしていきたい。
- ロールプレイングによって, 部下や後輩の気持ちを考えてみる事ができた。
- 「褒めて伸ばす」ことに気を付けたい。また, 「叱る」のではなく気づかせるような助言によってコミュニケーションを取ることが大切だと思った。
- 組織の人材育成をどのように進めることが必要かについても考えさせられる研修だった。今後活かしていきたい。
- 後輩と接するときはもちろんだが, 自分自身のミスや悩みを減らすためにもコーチングの技術が役立つと感じた。

5 役員・管理職セミナー

- テーマ：日本国内の組織の持続性をSDGsから考える
- 日時：2019(令和元)年8月29日(木) 14:00～16:00
- 場所：シェラトングランドホテル広島
- 講師：三井 久明
- 参加者：33名(広島大学15名, デルタ工業(株)2名, メンバー機関等16名)
- 内容：国際開発センターでSDGs室長を務め、日本企業を中心にSDGsに関連したコンサルテーションを行う講師を招聘し、SDGsの登場背景及び17の目標の構成について解説するセミナーを開催。SDGsがもたらす事業機会について各方面での議論も紹介された。

<参加者の声(抜粋)>

- SDGsと民間企業の関係性について、理解できた。
- SDGsがなぜ必要なのか、具体的な取り組みをどうすべきかをイメージすることができた。
- 最近よく耳にするようになったSDGsだが、具体的にどんなものか分からずにいたので、今回の講演を拝聴して、自分の身近なものとして考えられるようになった。



<セミナーの様子>



6 女性学生向け企業訪問バスツアー

マイクロンメモリジャパン合同会社

- 日時：2019(令和元)年8月9日(金) 7:15～12:30(9:00-12:00)
- 場所：マイクロンメモリジャパン合同会社 広島工場(広島県東広島市)
- 参加者：63名
- 内容：会社説明、グループディスカッション、パネルディスカッション、施設見学。マイクロンからは、20名が参加していただいた。各グループにファシリテーター(1名)と、ダイバーシティに関連するスタッフ(1名)がそれぞれ配置され、各人の経験話や質疑応答が行われた。

<参加者の声(抜粋)>

- 様々な経歴の方々とコミュニケーションが取れ、聞きたいことを聞くことができ満足した。
- 将来働くイメージが持てた。
- やはり現場の人の意見は予想していたものと違うところもいくつかあるのでためになった。
- This tour gives me the precious opportunity to broaden my insight into diversity.
- 人種や性差以外のダイバーシティもあることを知った。
- 様々な機会において、ダイバーシティを大切にしようと思った。
- 今後自分が就職して子どもを産んだときのイメージを少しだけ持つことができた。



<女性研究員とのグループディスカッション>



<女性研究員とのパネルディスカッション>

独立行政法人 酒類総合研究所

- 日時: 2019(令和元)年12月11日(金)13:15~16:30
- 場所: 独立行政法人 酒類総合研究所(広島県東広島市)
- 参加者: 13名
- 内容: 概要説明, 施設見学, 研究内容の講演, グループディスカッション。酒類総合研究所は、2名の女性研究員(副部門長, 主任研究員)が参加し、研究実績等について説明いただいた。また、2グループに分かれて参加学生とディスカッションを行った。施設見学では、実際にお酒を造っている工程を見ながら説明いただいた。



<参加者の声(抜粋)>

- 二人の女性研究者とも長い間酒類研究所で働いていて、いろいろな部門に活躍している様子を見てすこし勇気が出た。今日は来てよかったと思った。
- 日本酒研究のお話を詳しく聞けたおかげで、就職研究に役立った。
- I felt overwhelmed to see women doing working with men in a reputable research institution.
- I am thinking about the institution as my future workplace.



<女性研究者からの研究内容説明>



<施設見学>

大塚製薬株式会社 能力開発研究所

- 日時: 2020(令和2)年1月10日(金)
- 場所: 大塚製薬株式会社 能力開発研究所(徳島県徳島市)
- 参加者: 15名
- 内容: 概要説明, 施設見学, 研究内容の講演, グループディスカッション
大塚製薬からは、13名の方々に参加いただいた。そのうち女性研究員は10名が参加され、1名の方に研究実績等について説明していただいた。また、3グループに分かれて女性研究員9名が、参加学生14名とディスカッションを行った。

<参加者の声(抜粋)>

- 学校での研究と企業での研究の違いを知ることができたのでよかった。また、どのような意欲、目標を持って働いているかを知ることができ、これから学生生活の中で頑張っていけることは何かを考えるきっかけになった。
- 優しく丁寧にお話してくださり、製薬会社の研究職や大塚製薬についての理解が深まった。
- 「先入観を捨て、一般常識を超え、不可能を可能」というのが今日最初の研究所見学でひっくり返した絵、水培トマト、曲がってる杉、水に浮いている石から、イメージつきやすく、印象深く習った。すごく大事なこの考えを実際に自分の生活の中に実行していきたいと思う。
- 一つの見方に固執するのではなく、発想の転換をすることという考えは、研究で行き詰まった時に役に立つと思った。
- 企業での研究職について理解が深まり、学生の研究活動で身につけておくべきことがわかった。今後、自分の研究を説明できるようにする、相談しながら自分で考えて実験をまわすこと、自分で勉強して知識を増やす癖をつけることをできるようにしたいと思った。自分の専門を深めると同時に、幅広い視野でどのように応用できるかを考えたり、将来自分がやりたいことは何なのか、しっかり考えたい。
- 祖母も母も専業主婦だったので、結婚出産しても働く女性が身近にいなかった。しかし大塚製薬には子どもが幼くても働く女性がたくさんいて、感動した。交流を通して、大塚製薬には幼い子どもがいる人も働きやすい環境が整っていることがわかった。



<女性研究員による研究内容説明>



<女性研究員とのディスカッションセッション>

7

女性学生のためのキャリアスタート支援セミナー

マツダ株式会社

- 日時：2020(令和2)年1月20日(月)18:00~20:00
- 場所：広島大学学生プラザ4階(広島県東広島市)
- 参加者：9名
- 内容：会社説明、仕事内容の講演、グループディスカッション マツダからは、4名(女性：技術職3名・人事1名)の方々に参加いただいた。冒頭、会社概要を説明していただき、その後、2名の女性技術者から現在取り組んでいる仕事のことやワークライフバランスをどのようにしているのか等について説明があった。後半は、4名の女性社員(技術者3名・人事1名)と女性学生5名とで、ディスカッションを行った。

<参加者の声(抜粋)>

- 工学部一類で、周りに女性学生が少なく、自動車会社で働くイメージが持てなかったが、OGの話を知ることができてよかった。
- マツダ車のカラーが好きだが、その安全性の高さについても初めて知ることができた。
- 開発の仕事と子育てとの両立について知ることができた。



<女性技術者等とのディスカッションセッション>



<手前：女性学生 奥：マツダ技術者等>

8

長期インターンシップ

区分	所属	派遣先	実施期間
1	広島大学大学院教育学研究科 D3	国内(国際機関) UNITAR広島	2019(令和元)年7月30日~9月30日
2	広島大学グローバルキャリア デザインセンター 特別研究員	国内(独立行政法人) JICA中国	2019(令和元)年8月5日~9月20日
3	広島大学大学院文学研究科 D1	国内(公益財団法人) 公益財団法人 平山郁夫美術館	2019(令和元)年10月2日~11月29日
4	広島大学グローバルキャリア デザインセンター 特別研究員	国内(一般財団法人) 一般財団法人 こゆ地域づくり推進機構	2019(令和元)年10月21日~11月22日
5	広島大学大学院教育学研究科 D1	国内(国際機関) UNITAR広島	2020(令和2)年1月23日~2月21日
6	広島大学大学院工学研究科 D3	国内(製造業・化学工業) 昭和電工株式会社	2020(令和2)年2月14日~3月13日

<参加者の声(抜粋)>

- インターンを通して、自分の知識と研究能力が活用でき自信がいった。また、新しい知識を手に入れることができた。これからも様々な知識を学びたい。
- インターンシップ先のスタッフの方々のキャリアは多種多様で、友人関係を含め、様々なネットワークを構築・活用することが重要だと教わった。今後の自分のキャリアステップに活かしたい。
- お客様と交流することや様々な文化交流活動に参加することによって、日本文化に対する理解を深めましたし、いろんな領域にいる人々とながらうようになった。
- 自分のキャリアについて考えるのは重要だが、やってみるのも重要。実践の中からやりたくないことを排除し、やりたいことを探したらいいと思った。